

事業の基礎情報

実施主体	全但バス株式会社
事業実施地域	兵庫県養父市関宮
共創の類型	官民共創・他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉
共創パートナー	養父市・一般財団法人日本自動車研究所・NPO法人但馬を結んで育つ会 養父市社会福祉協議会・全但タクシー株式会社
運行形態	乗合型デマンド交通
運行主体	全但バス株式会社・全但タクシー株式会社

取組の概要

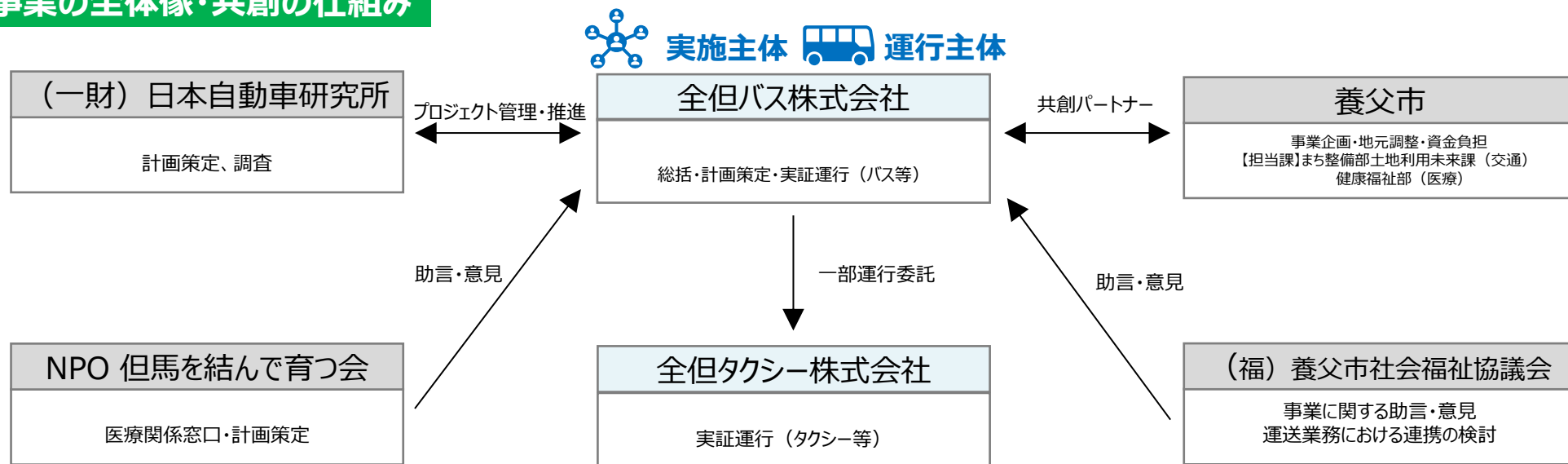
（現状の地域課題と事業目的）

中山間地域にある兵庫県養父市関宮地域は、居住者密度が低く、一人住まいの高齢者も多いことから、交通をはじめ医療・福祉サービスも維持できなく徐々に崩壊しつつある。そこで養父市では、令和6年度に向けて旧関宮役場跡に地域の核となる①市庁舎（関宮地域局：既存）②サービス付き高齢者向け住宅③小規模多機能型供託介護施設④診療所（既存）・歯科⑤バスターミナルなどを整備し、まちの中心部に主要施設を集める「小さな拠点づくり」計画を進めている。この拠点を中心とする機能を十分に活用していくためには、拠点へのアクセスの可否が大きな要素となることを踏まえて、既存交通に加え、医療や福祉輸送を統合した新たな交通サービスを検討する。

（事業の概要）

公共交通の担い手となるドライバー確保の難化により事業継続が難しくなっているため、新しいデマンド交通の導入等によって効率性と利便性の向上を図る必要がある。その方策として、現状の公共交通やスクールバスに関わる人的資源を活用し、これまでの路線バスではカバーできていなかった需要に応えることや、在宅での医療福祉サービス提供に関わる輸送を担うことを見据え、医療や福祉・行政の協力のもと乗合型のデマンド交通の受容性調査を行う。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

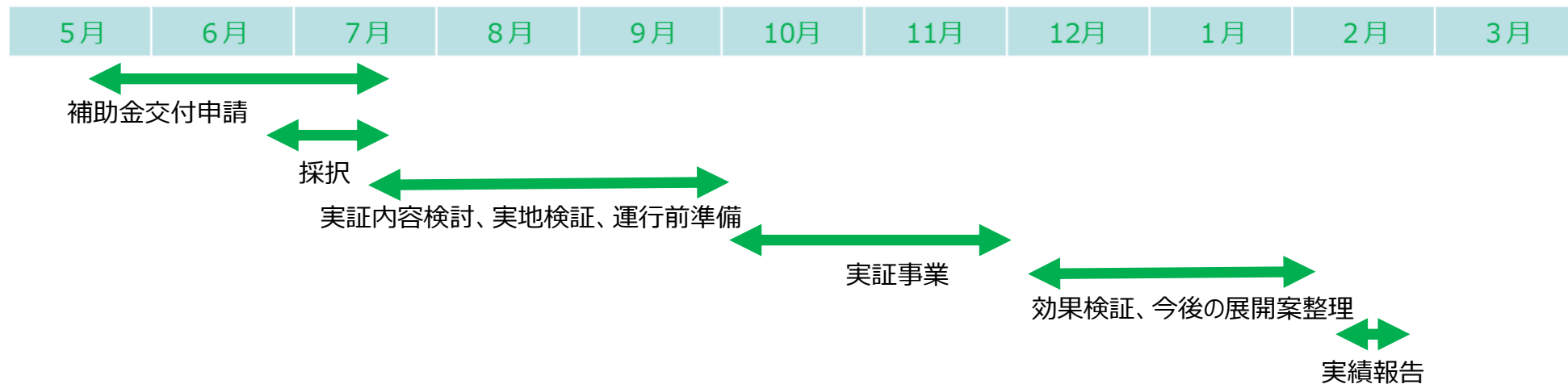
新しい交通システムが地域に根付くためには、施設等の整備に加えて、その準備段階から、どれだけ住民を巻き込んでいけるかが大きな要素となる。そのため、様々な機会を利用し住民参画の機運を高めるため、地元説明会や地域主催事業などの機会を活用して、地域の交通を自らの将来に関係が深いこととして捉えていただく機会創出に向けて、行政をはじめ、医療・福祉・交通などが協働し取り組んでいく。

(実証事業により見込まれる効果)

地方部では、依然として人口減少や少子高齢化が進むことに加え、交通事業者においては乗務員不足などが急速に進んでいる。また、交通事業と同様に医療・福祉・観光業などにおいても担い手不足は起こっており、1つの業種のみでの解決は難しくなっている。そこで本実証事業を通じて、住民参画の土壌を醸成しながら事業者間の連携を図ることで事業継続性確保の目処をつけ、小さな拠点を中心とした地域の継続と活性化に資するモデルを構築する。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)



(補助事業実施後の予定)

- ・小さな拠点整備事業と連動した地域交通の再編を実施。
- ・その計画策定に向けて、行政・地域・事業者が一体となり公共交通のあり方を検討していく。
- ・現在当該地域にある交通モード（路線バス、コミュニティバス、スクールバス、タクシー、やぶくる等）の整理及び交通体系の再構築を目標に、医療等の他分野との連携を検討し、最適で利用しやすい公共交通を創る。

